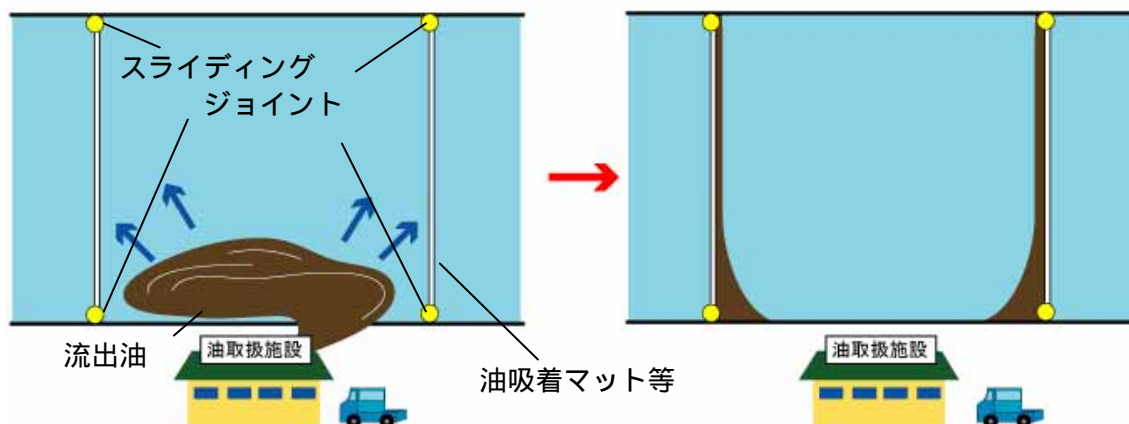


参考3．運河や港口の封鎖装置（スライディングジョイント）について

流出油の襲来や拡散を防ぐためには、迅速に油回収ネットや長尺型油吸着マットを展張して封鎖することが重要ですが、これらを非常に簡単に展張するための装置がスライディングジョイントです。

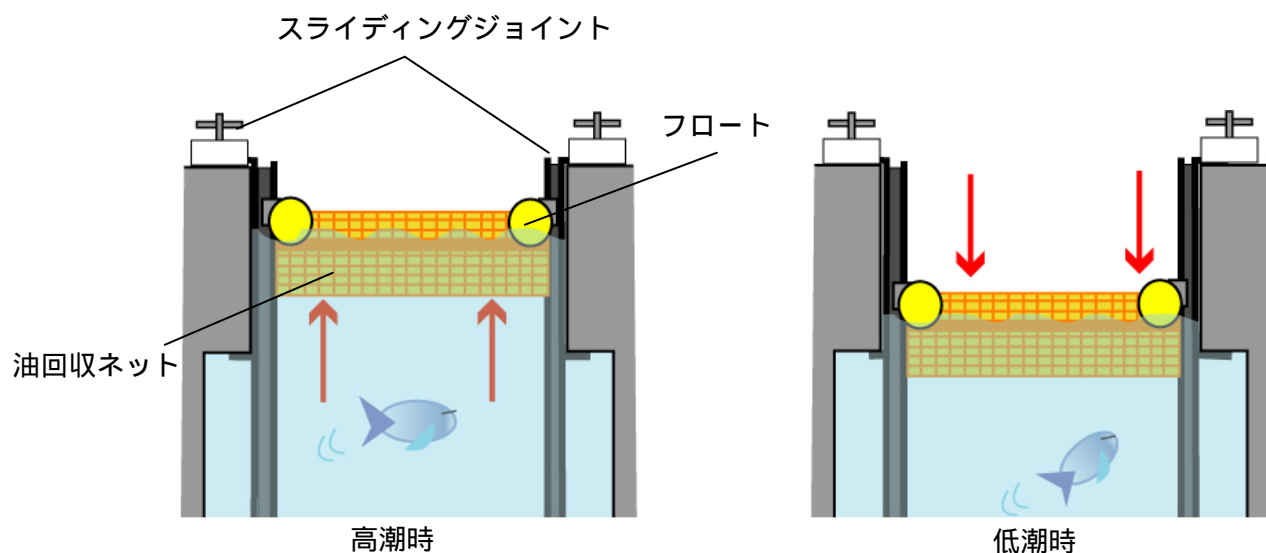
特に運河等に設置された油取扱施設等の両側に設置すると万一の場合に有効です。



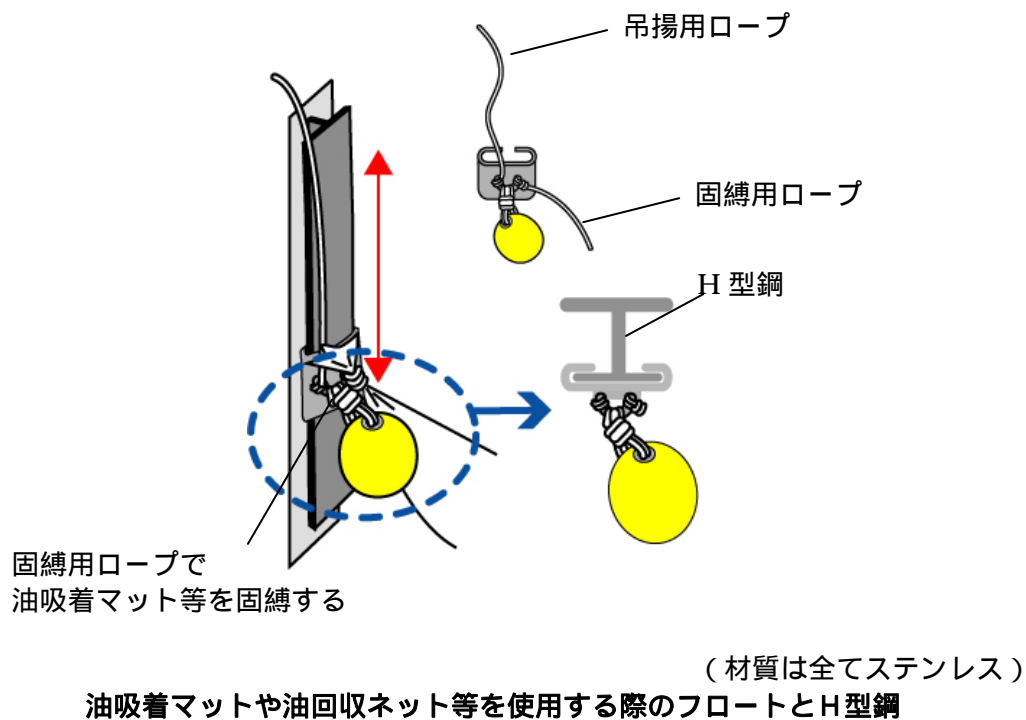
流出油の拡散防止を目的とした運河等の封鎖

1．スライディングジョイントとは

スライディングジョイントとは、油回収ネット等を簡単に装着するため両側岸壁等に設置する装置をいいます。干満等水位変化に追従し、油回収ネット等を岸壁等に密着させることができるので非常に有効なものです。ステンレス製のH型鋼で作製します。

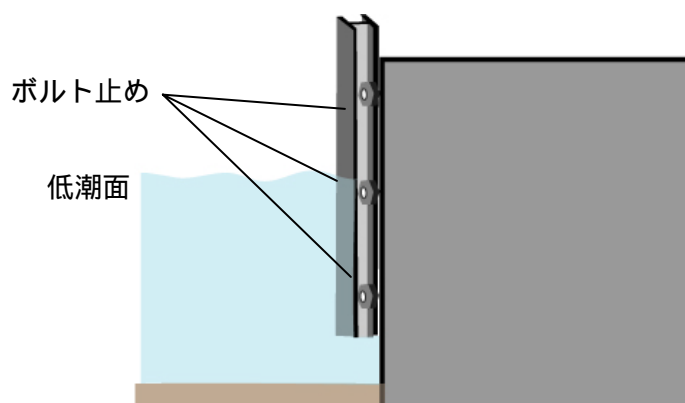


水位変化に追従する油回収ネット

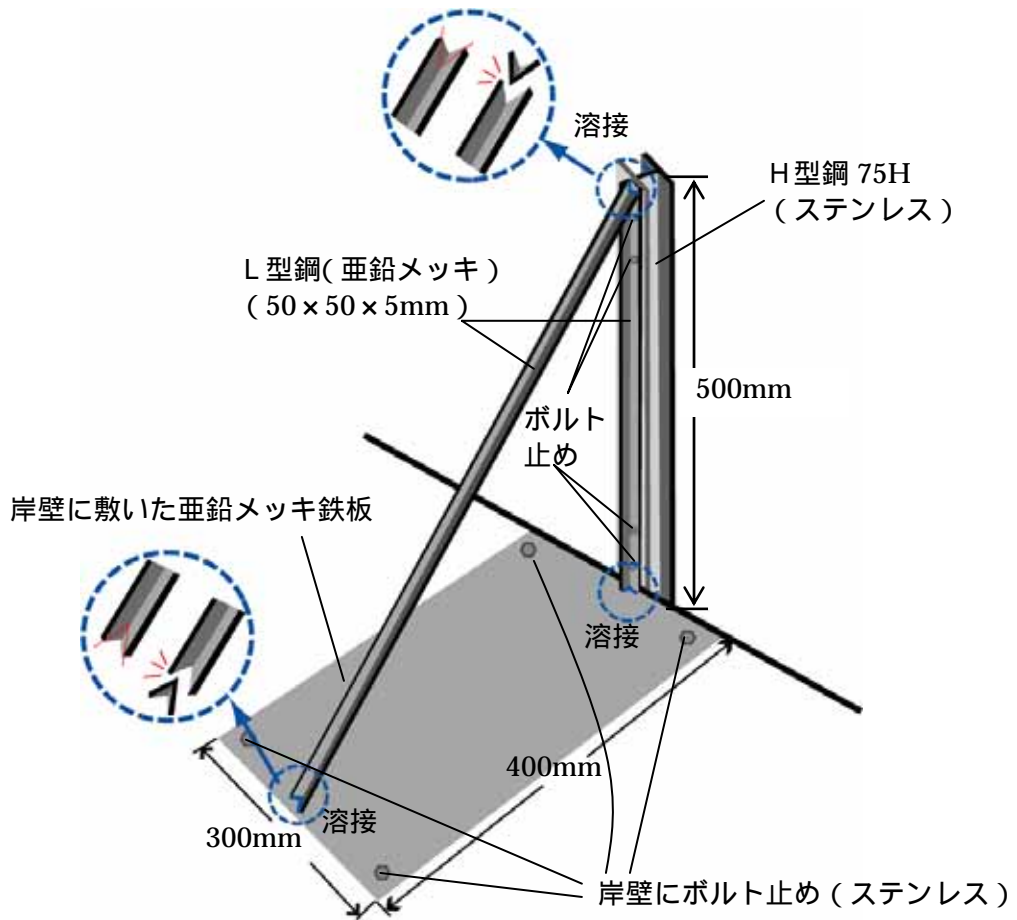


2. 固定式

岸壁等にボルトで固定するか、海底に打ち込んで設置します。設置する場合は港湾や漁港の管理者の許可を要します。



スライディングジョイントの岸壁への恒久的設置方法
恒久的に設置する場合は岸壁の垂直面にボルト止めします。

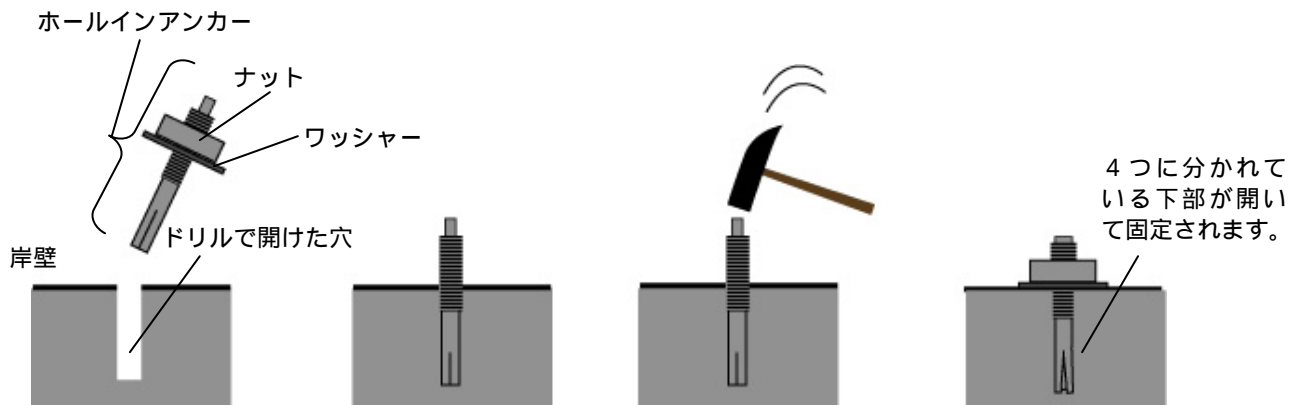


簡易固定式スライディングジョイントの岸壁への一時的設置方法
岸壁へのボルト止めなので着脱が簡単です。

岸壁への固定法

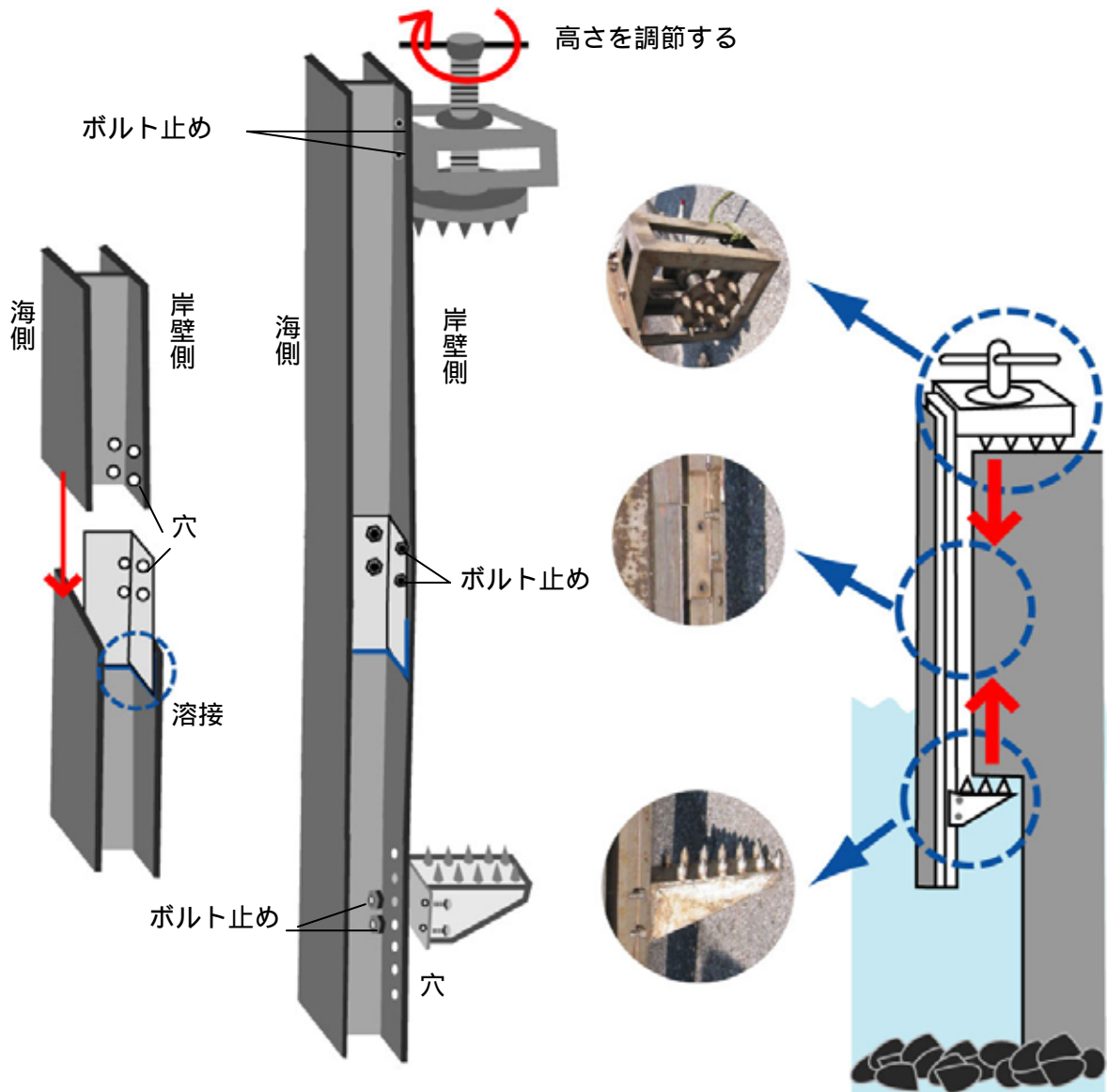
- ホールインアンカーの直径と同じ直径の穴をドリルで開けます。
- ホールインアンカーを差し込みます。
- ホールインアンカーの頭部をたたき込みます。下部が開いて固定されます。
- 付属のナット、ワッシャーで固定します。

* 前頁の岸壁の垂直面に固定する場合も同様の方法でホールインアンカーを使用します。



3. 可搬式

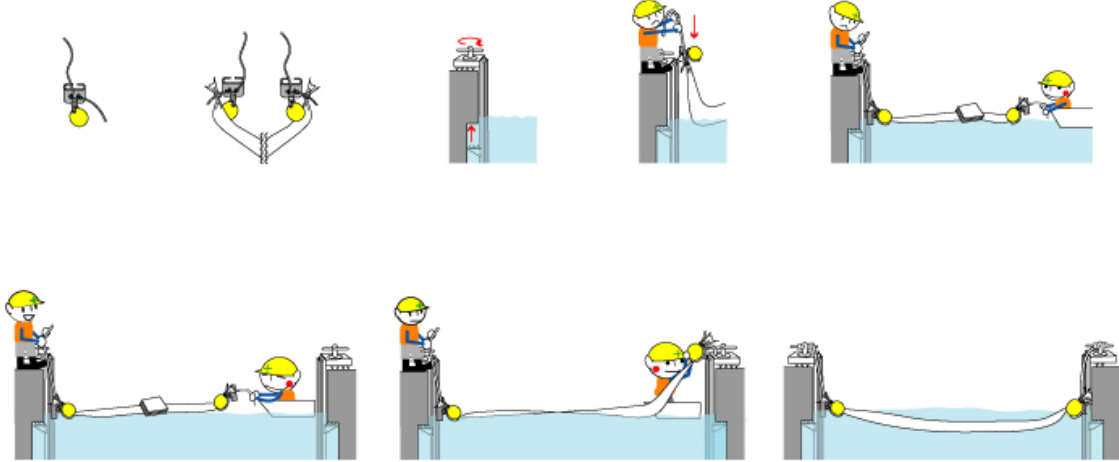
鋼矢板岸壁等コーピング（鋼矢板を打ち並べて作る護岸、岸壁、堤防において、鋼矢板の頭部を包み込んで打設したコンクリート）により、下部に段差がある場合は、必要な時だけ敷設できる可搬式が便利です。なお、長さが4 m以上の場合は下図のように2本のH型鋼をボルトで止めて連結します。



(材質は全てステンレス)

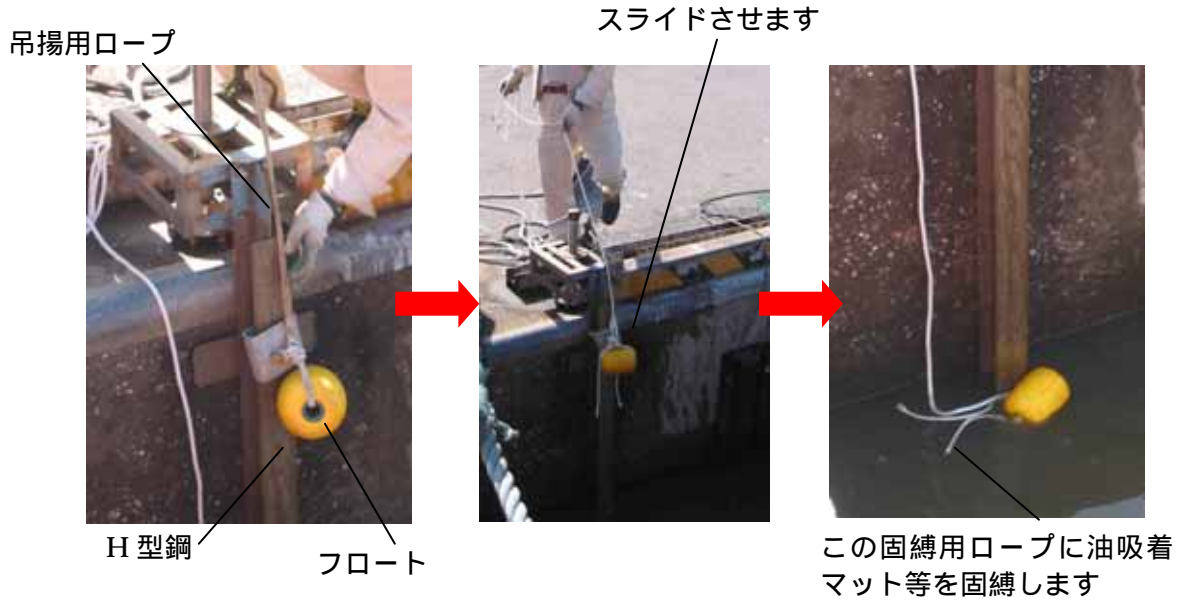
可搬式スライディングジョイントの仕組みと連結方法

4. スライディングジョイントを使った油防除資機材（油回収ネット等）の展張方法



スライディングジョイントを使った油防除資機材の展張方法

油回収ネットや長尺型油吸着マットを展張する場合には、船やリーディングロープで対岸に渡します。



設置した可搬式スライディングジョイントのH型鋼にフロートをスライドさせ海面に降ろした様子。このフロートに付いた固縛用ロープに長尺型油吸着マット等を取り付け上図のように展張します。